



通崎睦美さん©中川忠明

木琴の新たな可能性を

通崎睦美さん 19日、上京で演奏会

京都市生まれのマリンバ・木琴奏者、通崎睦美さんのリサイタル「木琴文庫V012」が19日午後3時から、府立府民ホール「アルティ」(京都市上京区)で開かれる。

907(81)の遺品の「木琴を使い、「チャーさん(ピアノ)、本村ルダシュ(モンティ) 睦幸さん(リコーダをはじめ、モーツァル)」。

共演は西脇千花。2005年に遺族から木琴と500曲以上の楽譜などを譲り受け、平岡さんの足跡を

つづいたノンフィクション「木琴デイズ 平岡養一『天衣無縫の音楽人生』(講談社)を出版した。

世界的奏者、故 平岡さんの遺品で

が19日午後3時から、

府立府民ホール「アルティ」(京都市上京区)

で開かれる。

アメリカを拠点に活躍した世界的な木琴奏者、平岡養一さん(1

前のバイオリンソナタ、木琴のために書かれた「五〇年」(野田雅巳)などを演奏

5歳でマリンバを始めた。通崎さんは10歳の時に、70歳の平岡さん

とチャールダシュを共に演奏

たどりながら、木琴の新たな可能性を探っている。9月、平岡さん

の生涯と木琴の魅力を紹介した。前売り一般3500円、学生3000円。当日4000円。オトノワ(075・252・8255)。

【富永浩三】

を出版した。

前売り一般3500円、学生3000円。当日4000円。オトノワ(075・252・8255)。

【富永浩三】